

技術ノート

ゆかた・手拭柄データベースによるデザイン企画支援

北原 浩*1) 山口美佐子*2) 嶋 明*3)

Designing assistance using a database composed of Yukata and Tenugui patterns.

Hiroshi KITAHARA, Misako YAMAGUCHI and Akira SHIMA

1. はじめに

東京本染ゆかたと手拭柄の模様をデジタルデータ化し、現代ファッションへ展開する上での基礎的資料としてデータベースを作成した。また、これらのデータを活用して試作品を作りデザイン検討を行った。

ゆかたの型紙(図1)、手拭の型紙(図2)、手拭名前型紙(図3)、ゆかた柄コピー(図4)はモノクロ2値化300dpi、手拭見本帳(図5)はフルカラー200dpi、手拭図案(図6)はフルカラー300dpiでそれぞれ入力した。

2. 内容

2.1 型紙の収集

「東京本染ゆかた」と「手拭」の注染型紙、「手拭見本帳」の模様や手拭の図案を表1のとおり収集した。収集にあたっては、都内注工場の協力を得た。(表1)

表1. 収集デザイン

	収集デザイン	数
1	ゆかた型紙	38
2	ゆかた型紙(2枚型)	53
3	手拭型紙	102
4	ふきん型紙	7
5	手拭名前型紙	597
6	ゆかた柄コピー	12
7	手拭図案	26
8	手拭見本帳	959
	合計	1794

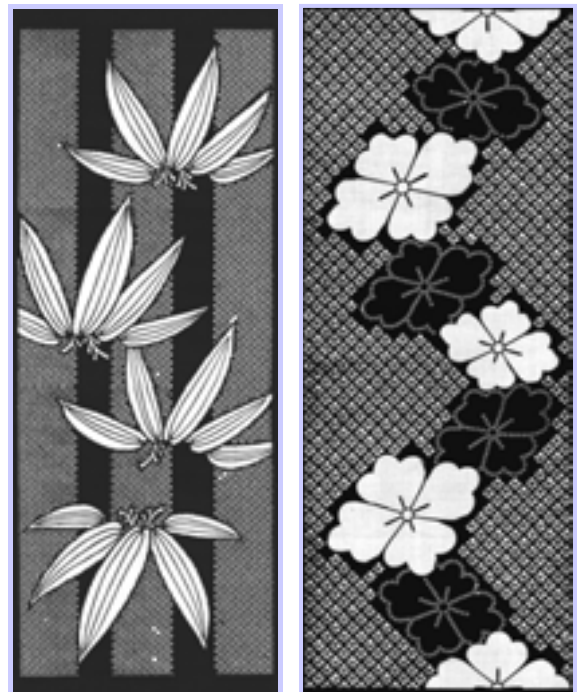


図1. ゆかたの型紙データ

2.2 データベース化

データベース用のシステム構成とソフトウェアは以下の通りである。

本体及びOSは、Power Macintosh G4 OS9 (アップルコンピュータ株式会社)。

入出力装置は、CANON PIXEL DIO S (キャノン株式会社)。

ソフトウェアは、Adobe photoshop(アドビシステム株式会社)。

デジタルデータ化は型紙と見本帳、図案等をスキャナで入力し実物大のデータとした。

型紙と図案はサイズが大きいため、4分割して入力し、コンピュータ上で画像を統合し実物大に戻した。



図2. 手拭の型紙データ

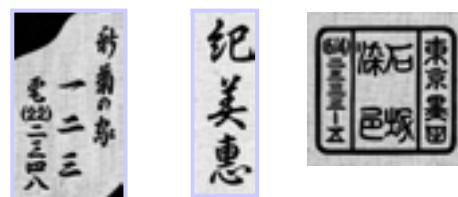


図3. 手拭名前型紙データ

*1) 相談広報室 *2) 製品科学グループ *3) 生活科学グループ

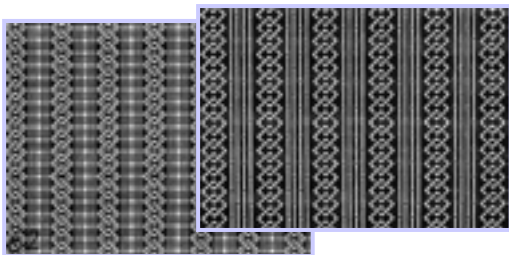


図4. ゆかた伝統柄データ



図5 手拭見本帳



図6. 手拭図案データ

デジタルデータは、MacOS、WindowsOS で使用できる Tiff 形式で蓄積した。またデータベースは蓄積データのサイズが大きいため、コンピュータで検索するのではなく、アナログのカタログ形式とした。

2.2 試作

これらのデータベースの中から型紙データ（図7）をデザインソースとして選び、テキスタイルデザインを創作し、インクジェットプリンタでシルク生地にプリントした。（図8）

その生地を用い婦人物ワンピースを試作した。（図9）



図7. 型紙データ

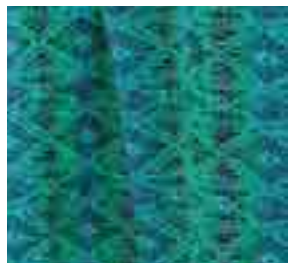


図8. ワンピースの柄

手拭図案のデータの中から背中全体にプリントできる大きな文様を選び、トリミングしてトレーナーの背中にプリントした。（図10）

プリント生地は、ゆかたの型紙が上下二方向の送りのため、四方連続の送りを付け、柄の縮小、合成、配色の画像処理を行い洋装向きのテキスタイルデザインに展開した。



図9. ワンピース試作品

また、トレーナーでは、和風をコンセプトに、手拭の柄を強調するため、データをそのまま使い、拡大、配色の鮮明、均一等の画像処理を行った。



図10. トレーナーの試作品

3. 結果

- ・データベースを利用することにより、スピーディな資料の検索ができ、またそのデータをコンピュータでデザイン処理することで、デザインの多様化と、企画からデザイン、試作品までのスピードアップを図ることができた。
- ・ゆかたや手拭の柄を配色や配置、大きさ等を変化させることで洋装に活用することができた。
- ・試作品のワンピース（図9）を第41回全国繊維技術交流プラザ（全国の繊維公設試の試作展）、テクノ TOKYO フェア 2003（当研究所の研究成果展）に出展し好評であった。

4. まとめ

ゆかた・手拭柄データベースは、デジタルデータ化したことにより、直接コンピュータに入力し、柄の拡大縮小、配色などの画像処理を行うことができる。このため、テキスタイルデザインだけではなく様々な分野のデザインに応用できる。

東京のオリジナルデザインとして、世界に発信できるデザイン企画支援の基礎的資料として活用を期待したい。

（原稿受付 平成16年8月11日）